

法人会員様限定

第4, 5回粉体塾のご案内

—粉体工学の基礎の基礎—

昨年度に引き続き、本年度も「粉体塾」を開催いたします。

粉体塾は、粉体工学の最も基礎的なところに焦点を当てて、講義を行うものです。本来であればこの企画は、少人数でアットホームな環境において講師と受講生との質疑、討論、その後の情報交換会を通じて、受講生に、粉体技術を使いこなし、イノベーションを生み出すための基盤を提供することを目指しておりますが、未だコロナ禍が終息しない状況ですので、オンライン（第4回）と人数を絞ったオンサイト（第5回）を開催することになりました。いずれの回も可能な限り受講生の皆様との議論を深めるよう努力いたしますので、是非奮ってご参加ください。

<第4回>

日時：2022年10月7日（金）13：30～16:40 講義

場所：オンライン開催（Zoom）

オンライン会議のための環境をご準備いただきますようお願いいたします。また事前申し込みいただいた方のみアクセス可とさせていただきます。

プログラム

13：30～15:00 「最新粉体工学。概論」

講師：創価大学理工学部 教授 松山 達 氏

粉体工学会ではこの2022年2月に『粉体工学用語辞典 web 版』を公開しました。約2500語の見出し語が収録されています。誰でもアクセスできますし、主要検索エンジンからも到達できます。これまでにそれなりの実アクセスも得られているようです。粉体塾小職担当第1回では、公開から半年を経過してこれまで、用語辞典 web 版でどのような用語にアクセスがあるのかといった、アクセス情報解析の結果をざっくりと眺めながら、「最近の粉体工学」全般についての俯瞰を議論してみたいと思います。意外な用語がアクセス上位に出現したりします。お楽しみに。そして講師としては参加者との質疑を愉しみにしています。できれば第4回の質疑の結果を第5回の内容に反映させたいと考えています。

15:00～15:10 休憩

15:10～16:40 「粉砕」

講師：東北大学多元物質科学研究所 教授 加納純也 氏

粉砕は、ものづくりにおいて最初の一步ともいえる重要なプロセスであり、食品、電子材料、医薬品、土木、資源など様々な分野で活躍している。その中で、粉砕の技術も高性能化、高効率化、新しい機能の付与など常に発展を続けている。本講義では、粉砕機構、粉砕方法、粉砕の評価、粉砕装置、粉砕システム等について紹介する。

（主な講義項目）

1.粉砕機構、2.単粒子粉砕と強度、3 粉砕エネルギーと粉砕速度論、4.粉砕の雰囲気、5.粉砕の装置とシステム、6. 質疑応答

参加費：無料。

定員：80名様

申込方法：企業会員に在籍している社員の方でしたら、どなたでも参加できます。希望者は、お名前、ご所属、連絡先を記載の上、件名を「第4回粉体塾受講希望」と明記の上、下記粉体工学会事務局まで、電子メールでご応募下さい。参加者は、原則、各社3名様までとさせていただきます。

申込み締め切り：9月末日（定員になり次第締め切ります）

申込み、お問合せ先：

一般社団法人粉体工学会事務局（事務局長 金谷宛）

TEL: 075-351-2318

e-mail: office@sptj.jp

<第5回予定> *第4回の講義を踏まえた内容となっています。

日時：2022年10月25日（火）13：00～16:30 講義

場所：同志社大学東京サテライトキャンパス

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階

https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/tokyo_c/tokyo_c.html

プログラム：

13：30～16:30

「粒子径計測の最近の話題から（仮）」

講師：創価大学理工学部 教授 松山 達 氏

できることなら第4回の粉体塾での質疑応答の結果を踏まえて、任意の話題についてざっくりばらんに議論したいと考えています。とはいえ、あまり詳しくないトピックスを取り上げるわけにもいきません。小職が比較的得意な分野は「粒子径計測」と「粉体の静電気」の話題です。第4回の粉体塾でそのあたりの話題がピックアップできると良いのですが、第5回運営は折角の対面形式ですので、「講義」というよりは「対話」を目指したい。インプロビゼーションを目指します。どうなりますことか。

「シミュレーションによる粉砕の解析と予測、粉砕機的设计」

講師：東北大学多元物質科学研究所 教授 加納純也 氏

粉砕機はブラックボックスと言われ、一体に粉砕機の中で何が起きているのかが、分からなかった。それにメスを入れるため、シミュレーションが導入された。シミュレーションモデルの進展によりボールミルを対象として、ボールの動きの解析、粒子径変化の予測、粉砕機的设计等が可能になってきた。本講義では、その方法と解析、予測、設計例を紹介する。

- 1.シミュレーションの必要性
- 2.シミュレーションを導入するメリット
- 3.シミュレーションの方法
- 4.ボールミルの解析
- 5.粉砕速度定数の予測
- 6.粉砕機的设计
- 7.質疑応答

上記に加え、第4回終了後寄せられたご質問への回答を可能な限り反映させた講義内容を組む予定です。

参加費：無料。

定員：30名様 先着順

申込受付開始：2022年9月26日（月） 第4回受講者に改めてご案内します。

申込み、お問合せ先：

一般社団法人粉体工学会事務局（事務局長 金谷宛）

TEL: 075-351-2318

e-mail: office@sptj.jp